

乃テ、テニヲハノ之ノ義トシテ字ヲ省ケル歟、又乃ノ脱タル歟、ユニアルベシ、又云、昌幸云、當郡長鶴村いろを権現ハ石長姫ヲ祭ルト云ヘリ、

神位

石器伊古殿

文德實錄、嘉祥三年十月壬子、伊豆國石奈比咩命神授ニ從五從下、

杉梓別命神社

杉梓別は須伎保古和氣と訓ベシ○祭神明か也○八幡村に在す、今本宮明神と稱す、大見十六村の惣鎮守也、志例祭 月 日、

伊豆志に、相傳フ當社ハ、式内杉梓別命也ト、正保二年ノ札ニ云、貞和中藤原朝臣祐義公新ニ宮殿造立、又云、田中村來、宮明神アリ、五十猛命ヲ祀ル、或云、杉梓別命也ト、川津十七村ノ惣鎮守也、慶長ノ札ニ木野大明神トアリ、云々、○伴信友云、コノ札正保の札云ノ文ニヨレバ、貞和年中ノ新建ニテ、田中村ノ來宮ヲ遷セルナルベシ、と云リ、惡胤 按るに、新に宮殿造立とわれは、いかにも新建のやう聞ゆれど、こは宮殿を新に造營したるなるが、書様の惡きならん、今に式内社と申傳ふるぞ慥なるべき、故に今は八幡村の方に從ふ、猶考ふべし、

神位

國內神階記云、從四位上ほこわけの明神、

多祁富許都久和氣命神社

多祁富許都久和氣は假字也○祭神明か也○在所詳ならず

伊波久良和氣命神社

伊波久良和氣は假字也○祭神明か也○八幡野村に在す、志例祭 月 日、

伊豆志に、當郡八幡野村八幡宮ハ、木ノ宮ヲ配祀ス、八幡ハ上古ノ神ニシテ本宮也、木宮ハ古老相傳テ伊波久良和氣命ト云、今ハ二ノ宮也古代著岸ノ時、海濱ノ岩窟ニ登ルト、祭ノ時酒ヲ竹ノ筒ニ盛り、伊古奈姬明神社ヘオクル禮アリ、又相傳フ、往古海濱ニ神酒ヲ饗ニ滿テ、十一月九日ノ夜廳舎ニ神官會シケルニ、一人ノ老翁來リ、其酒ヲ吞ミ神官ニモ傳ヘ受シメテ、東雲ニ翁ハ歸リケリ、其妻今ニ存ス、亦其翁ノ傳ヘシトテ、祭祀ノ時詠ズル歌ニ「三引フ子オハマニ返イホリ引ノ引ヤマンシガハ引ヲ引レンクシハチ引ハレンクシイガリイヌルヨミルメノイテオツレシキスマレンクシヤシキ引スマレンクシ

神位

國內神階記云、從四位上いはくらわけの明神、

意波與命神社

意波與は假字也○祭神明か也○在所詳ならず

神位

國內神階記云、從四位上いはよ姫の明神、

阿米都加多比咩命神社